

さいたま市地域スポーツ・文化クラブ活動体制整備事業

国の示す目指すべき姿

部活動改革・地域クラブ活動の整備

- ・スポーツ・文化芸術活動機会の確保
- ・部活動の新しい価値を創造
- ・「学校を含めた地域で育てる」意識
- ・地域による体験格差の解消

まずは休日の地域クラブ活動の整備

さいたま市の現状と課題

多様な課題・地域クラブ活動の不在

- ・市全体の規模を賄えるクラブがない
- ・地域ごとに異なる実情と課題
- ・休日の地域クラブ活動の所管がない
- ・教員の多忙化に伴う部活指導の負担

地域ごとに統括団体が運営



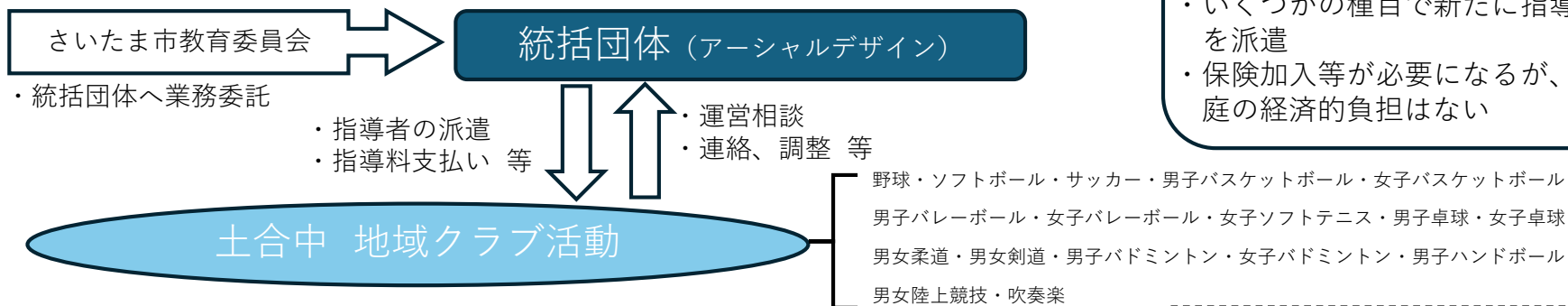
さいたま市地域スポーツ・文化クラブ体制整備事業

【概要】

・休日の部活動を地域クラブ活動へ移行 ⇒ 統括団体から派遣される指導員が指導

※平日はこれまで通りの部活動として活動 ⇒ 教諭が顧問として指導
 休日の地域クラブ活動（地域移行）

※現在、土合中の教諭・部活動指導員・部活動マネージャー等が登録
 ・生徒にとっては活動に大きな変化はない
 ・いくつかの種目で新たに指導者を派遣
 ・保険加入等が必要になるが、各家庭の経済的負担はない



【今後の展望】

- ・令和10年度までに、市立全中学校で休日の地域クラブ活動への移行を目指す
- ・将来的に、休日・平日ともに地域クラブ活動への移行を目指す

令和7年度モデル校

- ・片柳中
- ・大宮八幡中
- ・美園南中
- ・土合中
- ・柏陽中
- ・大宮東中
- ・植水中
- ・指扇中